

ケラート)

3月

677-d
222 (A754)

Q 1) 17日 19日 2) 18日
の状況



イラク復興支援群活動報告

18.6.8

1 8 . 6 . 8

イラク復興支援群

1 現地への物資供給の状況
2 現地調査の結果
3 現地での活動内容
4 現地での治安状況等
5 明日の活動予定

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 報 (18年6月8日)

◎ サマーワ主力

○ 人員・武器・装具異状なし

○ 警備態勢：[REDACTED]

◆ 医療

ー外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・ 学校の改修：

ー2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業

・ 道路の改修：

ー3カ所(サマーワ×3)での役務作業

・ PHCの改修：

ーサブヌーアPHC施工状況確認(サマーワ)

ー4カ所(サマーワ×4)での役務作業

・ 給水関連施設の改修：

ー8カ所(サマーワ×2、ヒドル、ワルカ×2、ルメイサ×2、ルメイサ～サマーワ間)での役務作業

・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：

ー2カ所(サマーワ、ヒドル)での役務作業

・ 燃料関連施設の改修：

ー1カ所(サマーワ)での役務作業

全 報 (18年6月8日)

○ 宿営地関連施設の整備

・ 宿営地散水

・ ゴミ回収

・ 尿尿汲み取り

・ 環境維持作業

・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス

・ コンテナ整理

・ コンボイ作業

・ #3ゲート停弾堤新設工事

・ コンボイ駐車場のプレハブ設置

○ 6月8日現在の雇用人員

計309名(累計：472,224名)※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

・ MND(SE)副師団長(トールズ准将)がサマーワ宿営地に来訪

別紙「MND(SE)副師団長(トールズ准将)、サマーワ宿営地に来訪」

・ 供与RO浄水機により給水車延べ30両に対し約468t(約104,000人分)が配水された。

6月8日まで計約74,008t(約16,446,222人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

全 日 (18年6月8日)

- ◎ クウェート分遣班
 - ・業務調整
 - ・コンボイ準備
 - ・ナビスタ国境通過支援
 - ・コンテナスキャナー運搬支援
 - ・本邦後送品後送準備
 - ・テレビ会議

- ◎ バクダッドLO
 - ・連絡調整及び情報収集

- ◎ バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議出席
 - ・訪問者（業支隊長、本橋企画官等）対応

- ◎ スミッティLO
 - ・情報要求対応等
 - ・各種業務調整等
 - ・各種ミーティング等

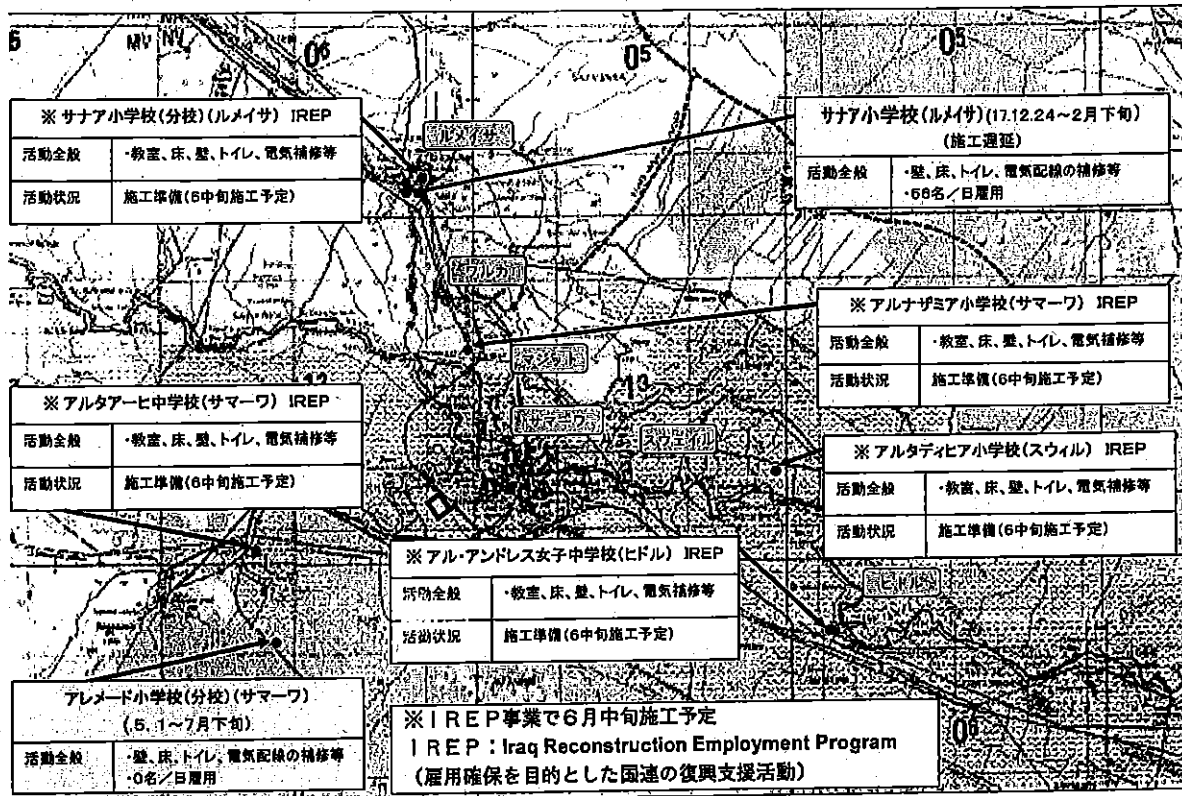
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・連絡調整及び情報収集

雇用者 (18年6月8日)

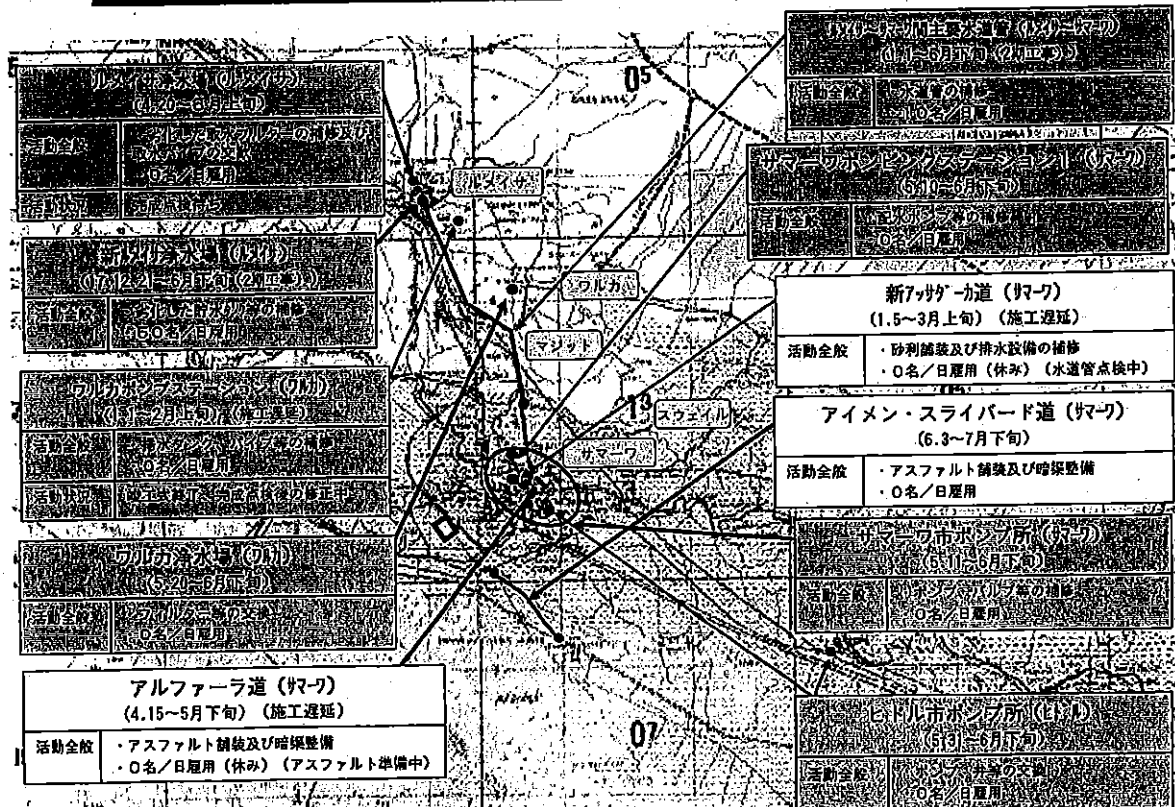
別表

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	8	127	309
	学校修復	56		
	道路補修	0		
	青年・スポーツ・女性	0		
	給水関連	60		
	燃料	3		
宿営地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
調査員	8			
耐弾性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			

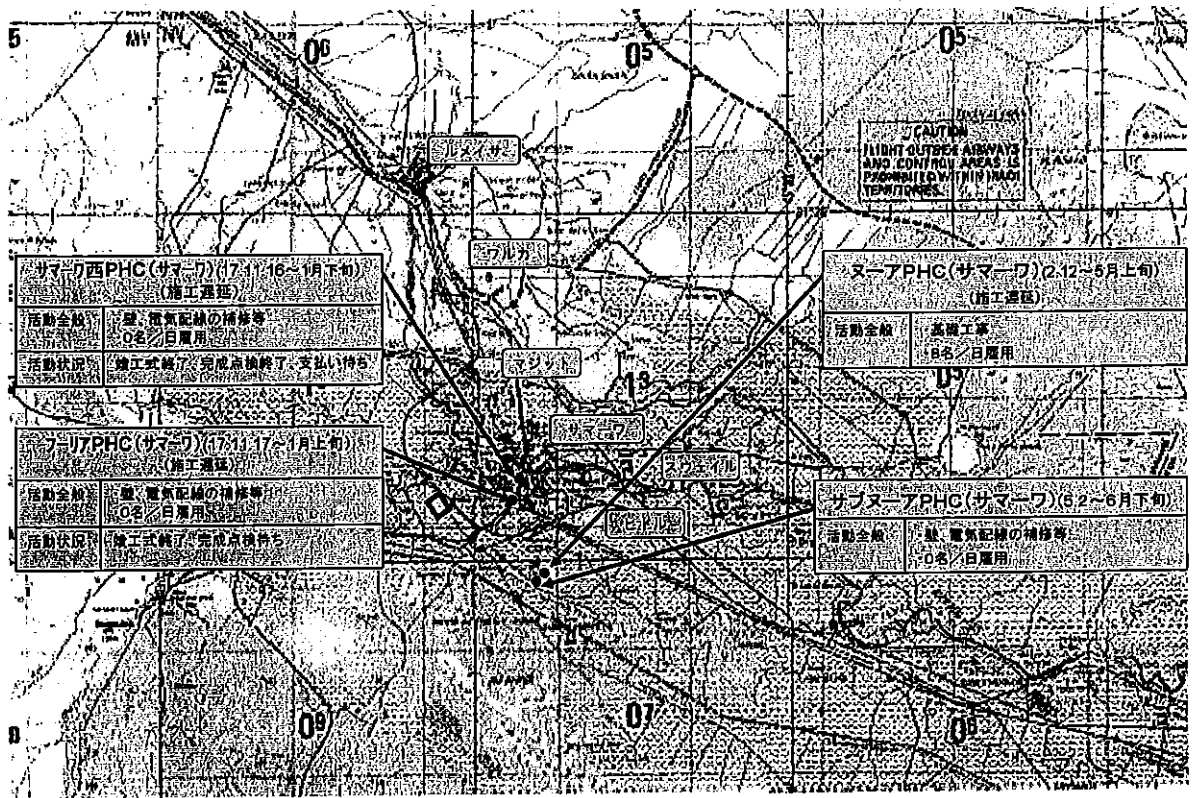
陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(08年6月8日成果/学校)



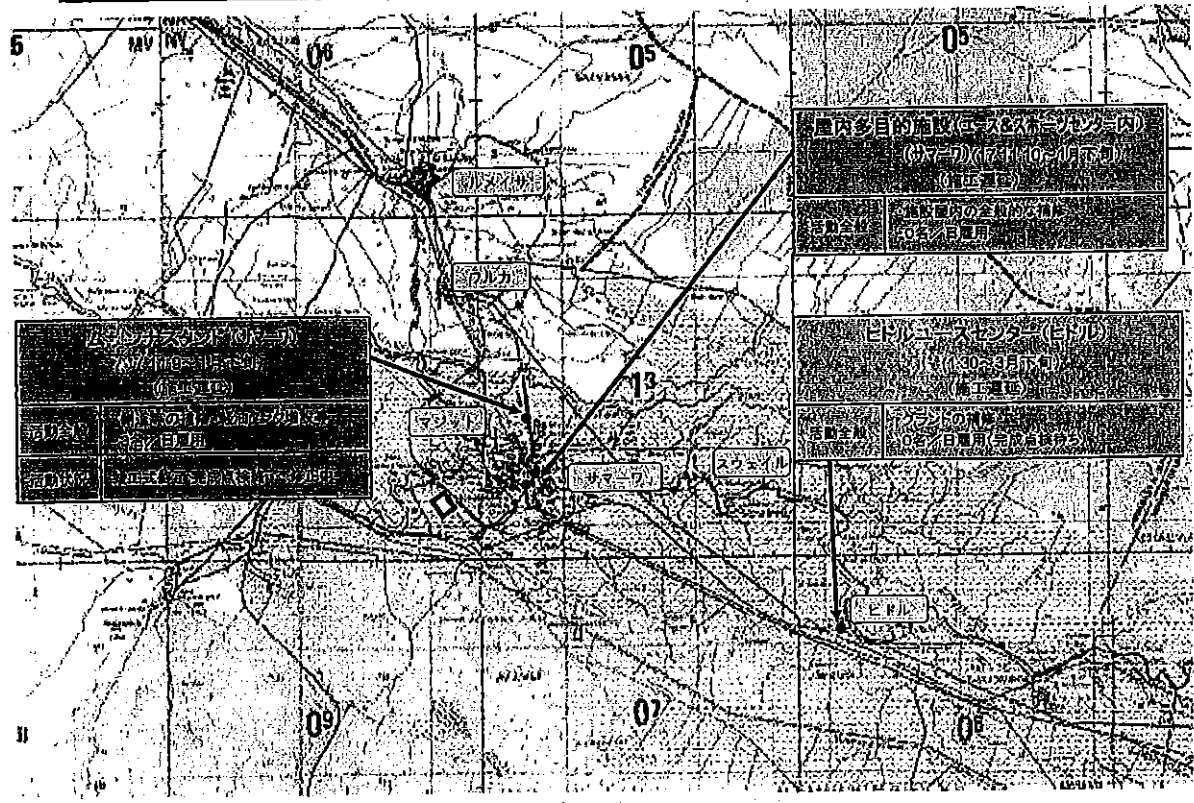
陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(08年6月8日成果/道路・給水関連施設)



陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(18年6月8日成果/PHC等)



陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(18年6月8日成果/青年、女性、福祉、清掃事業等)



上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

区分	所属人員	サマワ		クウェート		バクダット		バスラ		キャンプ・スエーデン		タリル		国外		国内		(備考) 経費の变化及び 増減人員の变化	
		定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員		
9次支援群	481	481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481	帰国
10次支援群	481	481	0	481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481	0	0	
9次警務派遣隊	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	帰国
10次警務派遣隊	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	
業務支援隊 6次要員	109	74	0	75	25	0	24	5	0	5	4	0	4	1	0	0	109	0	● (日本帰国) (SM)
業務支援隊 交歓要員	18	12	0	12	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	
合計	1109	1068	0	678	31	0	30	5	6	4	0	4	1	0	0	618	0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 35名 288分(10次群TV電話合計:0名、FOMA合計:459名)

装備の現況 (車両等)

項目	車 両																	計		
	小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイク口	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型	特大	浄水セット	重レッカ		溶接車	修理車
IQ	サマワ	12	10	2	51	19	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	177
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル																			
	バクダット																			
計	12	10	2	51	20	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	178	
KW	キャンプVA	2			10	1	1	2	1	1	1	2	14	1	1					38
	キャンプアリアジャン																			
	計	2			10	1	1	2	1	1	1	2	14	1	1					38
総計	14	10	2	61	21	7	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	216

装備の現況（武器）

項 目		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマ-ワ							
	シャイバ							
	バストラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリフジャン							
	計							
総 計								

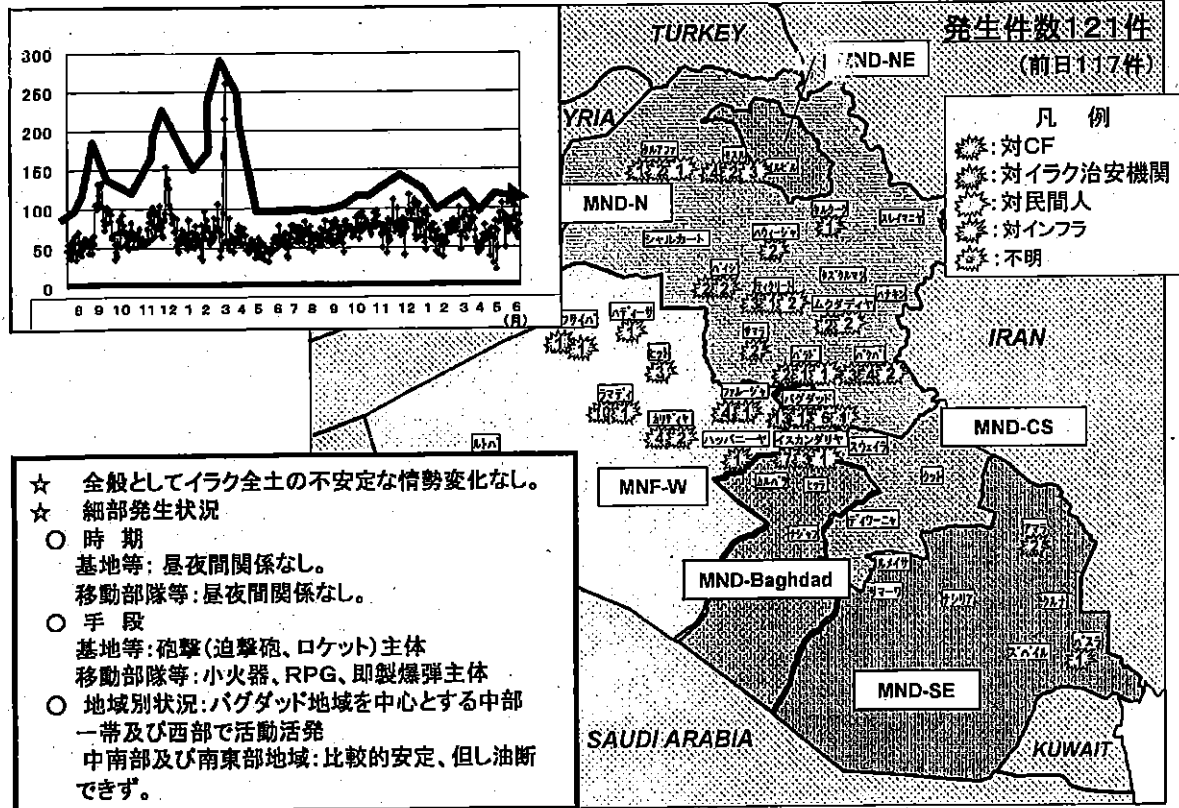
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	216	214	1	1	冷凍冷蔵車×1 エンジン不良	部品待×1
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	1	0	定期整備	後送中(クウェート)
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	20	25	50	レギュレータ等不良×20 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×1	部品待×25
発動発電機(25kw)	67	39	11	17	ガバナ等不良×10 ノズル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	59	48	4	7	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1 ファン不良×1	部品待×4
発動発電機(180kw)	17	15	2	0	ガスケット損傷×1 エンジン不調×1	部品待×2
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良×1	後送待×1

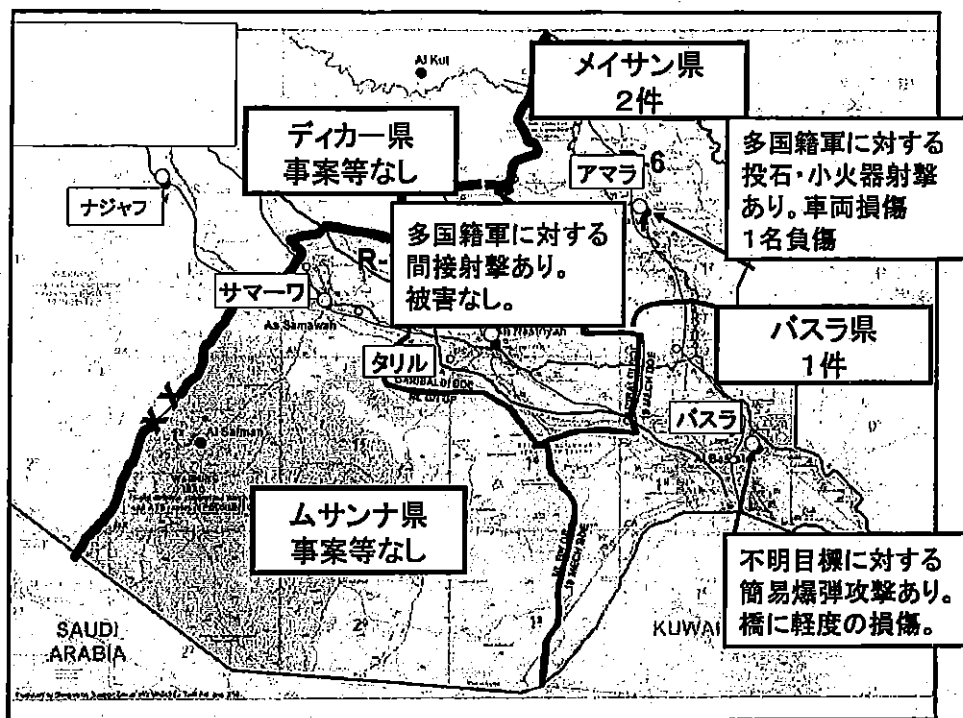
装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考	
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							

事案等の発生状況(7日0700~8日0700)



事案等の発生状況(7日0700~8日0700)



事案発生時刻
11:00 - 12:00
13:00

サマーワ市内のデモに関する情報(6. 8) - 1

時間	デモ参加者等の動き	治安機関の動き
0600		サマーワ市内及びサマーワ市周辺の主要道路を封鎖し、デモ参加者の市内流入を規制 検問所を多数設置
0800		サマーワ市及びルメイサ市に0800からの外出禁止令 ルメイサ市においても主要道路を封鎖
0900頃	サマーワ市内は商店が閉鎖 デモの開始は未確認 ルメイサ市内のデモは未確認	ルメイサ市内、特に知事の邸宅周辺はバドル組織が占拠 ワルカ村のイラク警察のうち、約半数がサマーワを増援
0950頃	JAMHOURY地区でデモが開始 約30名、小銃、機関銃、RPG等を所持している模様	
1015頃	県評議会前に群衆が集まりかけているが、武器は未確認 イラク陸軍及びイラク警察が周囲に配置	



サマーワ市内のデモに関する情報(6.8)-2

時間	デモ参加者等の動き	治安機関の動き
1045頃		サマーワ市内のR8の封鎖を解除
1110頃	ルメイサのサドル派民兵の要員は、検問所が多数であったため、サマーワへの移動を断念	
1300頃	昼食及び礼拝を理由にデモが一時中断 商店は引き続き閉店中	サマーワ宿营地周辺の道路は封鎖を解除
1350頃	デモが終了	

○ 本日実施されると見られていたデモは、デモとして組織化されることなく終了
イラク治安部隊が展開してデモの実施を阻止したものであり、ムサンナ県における治安権限の移譲の観点から肯定的に評価できる事象

○ 一方、電力、燃料、水等の生活基盤の状況が著しく改善されたわけではなく、今後も県知事等に対する不満は蓄積され続けるものと思料
引き続き、大規模なデモの生起には注意する必要



イラク全土の全般情勢評価(6.8)

(6月8日変更)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 ●シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 	<p>8/26追加</p> <p>8/8追加</p> <p>6/8修正</p>
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク移行政権)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィGpの共闘が変化する可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が変化する可能性 ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 	<p>6/8修正</p> <p>6/8修正</p>
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル市民民兵の再構築を企図 ●新政府の主要ポスト(内務、国防、国家安全保障担当)にサドル派の容認できない人物が選定された場合、政治プロセスの進展を妨げる動きに出る可能性 	<p>6/8修正</p> <p>6/8修正</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引) 	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価(6.8)

(6月8日変更)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定だが、多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃が発生 ●バスラ県、メイサン県に所在した簡易爆弾技能者がディカー県に流入し、活動している可能性。さらにこの一部がムサンナ県にも流入した可能性 ●バスラ県、メイサン県、ディカー県に加えてムサンナ県においても簡易爆弾による攻撃が発生 ●バスラの不安定な治安情勢は継続する可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・多国籍師団(南東部)等が継続する治安維持作戦に対する反発から、簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性 	5/5修正 5/12修正 5/12修正 6/8修正
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル派中央の意向に従わない一部の勢力が存在 ●新政府の主要ポスト(内務、国防、国家安全保障担当)にサドル派の容認できない人物が選定された場合、政治プロセスの進展を妨げる動きを南東部においても実施する可能性 ●地方選挙に向けサドル派民衆とバドル組織との緊張が高まる可能性 	6/8修正 6/8修正 1/14追加
MSR/ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●IED、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 	6/8修正
タリルAB	<ul style="list-style-type: none"> ●経路上のIEDや小火器射撃等、航空基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃の可能性 	9/30追加

ムサンナ県の全般情勢評価(6.8)-1

(6月8日変更)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 ●IED技能者が流入したおそれがあり、今後、EFP等の高性能なIEDを使用した攻撃が行われる可能性 	6/8修正 5/12追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性 	6/8修正
部族関連	<ul style="list-style-type: none"> ●宿营地警備等の雇用の増大、復興支援活動の誘致を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報 	2/20修正
デモ関連	<ul style="list-style-type: none"> ●5月以降の電力事情の悪化が、高値で推移する燃料代や気温の上昇と相俟って、デモや暴動が引き続き生起する可能性 	6/8修正

ムサンナ県の全般情勢評価(6.8)-2

(6月8日変更)

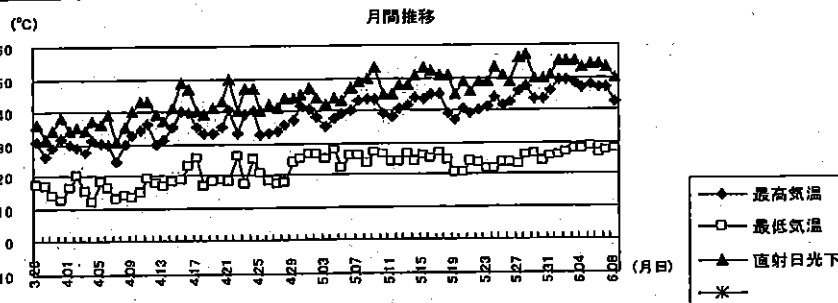
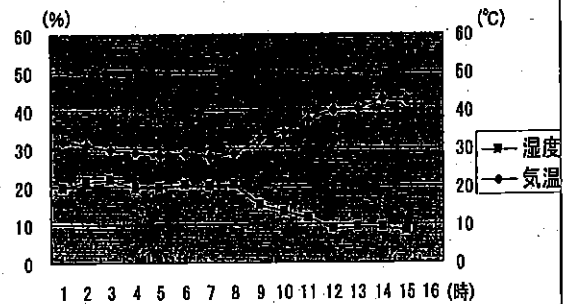
区 分	内 容	備 考
サドル派	●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性 (サドル派民兵が支持獲得のため反多国籍軍姿勢を強める可能性)	1/14追加
	●新政府の主要ポスト(内務、国防、国家安全保障担当)にサドル派の容認できない大物が選定された場合、政治プロセスの進展を妨げる動きをムサンナ県においても実施する可能性	6/8修正
	●サドル派民兵はねっかえりが宿営地に対する間接射撃等による攻撃を行う可能性	6/8修正
	●PJOC及びPJOC周辺での活動、'Cooperative Zone'(イエローゾーン)への立入及び周辺部での活動に関連して、英豪軍、日本隊等に対するRPGを含む直射火器やIEDによる攻撃が行われる可能性	6/8修正
	●5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派中央は、サマーワサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性	6/4修正

現地の気象情報

報告内容

明日の日の出 : 0554(サマータイム)
 明日の日の入 : 2003
 明日の月齢 : 13.1
 明日の月出沒 : (出9日1758~没10日0343)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高42.4℃最低28.1℃
 : 最高50℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 15.9%
 本日の風速 : NW6~8m/s

気温・湿度推移(サマータイム)



18年6月9日(金)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	群長の行動	0740 0750	統幕長報告	
		0800 1400	宿営地内勤務	
		1430 1445	11日J任務経路等について(仰指)	
		1445 1500	活動命令(案)について(仰決)	
		1500 1600	10日行動証明について(仰指)	
		1615 1645	作戦会議	
J2	業務支援隊長の行動	0800 1600	宿営地内勤務	
		1615 1645	作戦会議	
		1645 1705	隊ミーティング	
J201	GRF(A)	■■■■ ■■■■	■■■■ ■■■■	■■■■

18年6月9日(金)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J202	GRF(B)	■■■■	■■■■	■■■■
S6☆	役務警備員配置	9日 1130~ 1930~ 10日 0530~	宿営地~運河警戒位置~宿営地	
S11☆	警衛	■■■■	警衛	■■■■
		■■■■	望楼勤務	■■■■
S12☆	浄水活動(運河)	0730~1000	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1

18年6月9日(金)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0830~1600	宿営地散水	
S13b		0830~1600	ゴミ回収	
S13c		0830~1600	尿尿汲み取り	
S13d		0900~1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0900~1600	コンテナ整理(トレックス)	
S13f		0900~	コンボイ作業	
S13g☆		0730~0900	汚水処理	大型(HS)×2 LAV(G)×1
S15	群主力の行動	0800 1600	宿営地内活動	
		(1300~)	(メリンジャー上級首長来訪受け)	
S16	空中監視活動	9日0830 ~ 10日0830	空中監視活動	

18年6月9日(金)の活動予定

クワート分遣班	バックアップLO	バスラLO	スミッティLO	クワート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・火器・車両整備 ・ナビスタ国境通過支援 ・本邦後送品後送準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

報告書(6.8.0815)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
- サマーワ市内でデモが起こる可能性がある。本日の宿营地外活動には直接影響はないが、今後の復興支援活動を実施する上で重要であるので、特にデモの企図、武器の携行、治安機関の対処能力に関する情報を収集せよ。

報告書(6.8.1605)

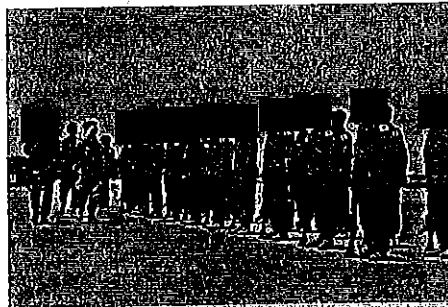
- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
- イラク政府の内務及び国防大臣が決まったことは喜ばしいことであり、今後、治安権限委譲が進む可能性がある。ただし、現在我々に与えられている任務は「復興支援活動の実施」であって、色々な報道がなされると思うが、報道に惑わされることなく、今与えられた任務を淡々と実施するよう、隊員に徹底せよ。
- MND(SE)副師団長が来訪された。特に、上空からサマーワ宿营地を見て、整然と区画され建物が建っている様子儀仗、日本文化(太鼓、茶道)の素晴らしさに感動され、非常に喜んで帰られたことを紹介する。

別紙

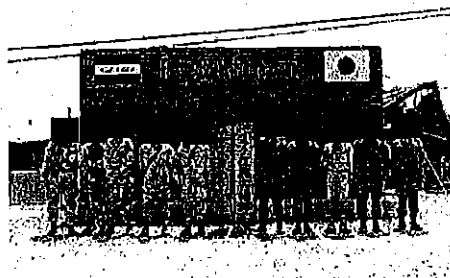
MND(SE)副師団長(トールス准将)、サマーワ宿营地に来訪



トールス准将と握手を交わす群長



出迎え儀仗の様子



記念撮影の様子



懇談の様子



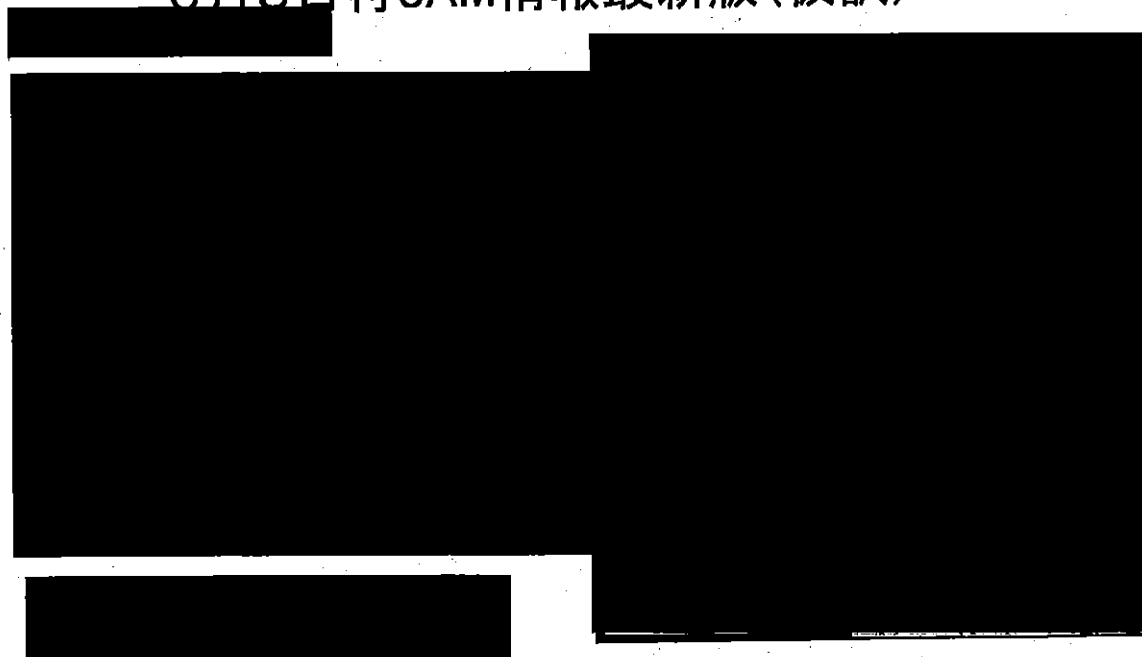
バグダッドLO日々業務報告(6月8日1830)



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報なし (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは[REDACTED]、バグダッド及びモスルは[REDACTED]、ラマディは[REDACTED]
2 特記事項	(1) 本日のBUAにおいてJAMに関する情報の最新版が報告された。(別紙第1参照) (2) 昨日1614頃、バグダッド国際空港(日本コソソ西南西約4km)に曲射火器攻撃があった。 ア 57mmロケット弾1発、人員・装備異状なし。 イ 別紙第2参照 (3) 本日1130頃、マリキ首相とケーシー大將がザルカウィ氏の死亡を報告した。 ア 昨日1815頃、バクーバ北側約8kmの空爆によりザルカウィ氏を殺害した。 イ 別紙第3参照
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	

別紙第1

6月8日付JAM情報最新版(仮訳)



評価:



[REDACTED]

JAM Update: 08 June

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

Assessment:

[REDACTED]

[REDACTED]

バグダッド日誌 (6月8日)

○ザルカウイ容疑者、死亡発表

本日イラク時間正午に、イラクのマリキ首相は、武装集団「イラク聖戦アルカイダ組織」を率いて、イラクの各地において大規模な無差別テロや攻撃を繰り返してきたとされるヨルダン人、アブムサブ・ザルカウイ容疑者が死亡したと発表した。マリキ首相の隣には、毎朝の指揮官報告で見ることができるケーシー大將が控えており、非常に感慨深いものがあった。

多国籍軍で勤務するものにとって象徴的出来事であると思い、パレス(多国籍軍司令部)の統合作戦センター(JOC)の様子を確認しに行った。JOC内にある大きなテレビ・スクリーンにはザルカウイ容疑者死亡のCNNニュースを放映していたが、いつもと同じように淡々と勤務しており意外な感じであった。

昼食時であったので、そのまま食堂にいくと、多国籍軍将兵がCNNを食い入るように見ており、「サプライズイング」という声が聞こえたり「ハイタッチ」している兵士たちもいた。恐らく一部の人のみがこの事実を知っていたのであろう。多国籍軍はザルカウイ容疑者にさんざん煮え湯を飲まされてきたという印象が強いだけに、イラク国民にとっても多国籍軍にとっても非常に「ポジティブ」なニュースであった。

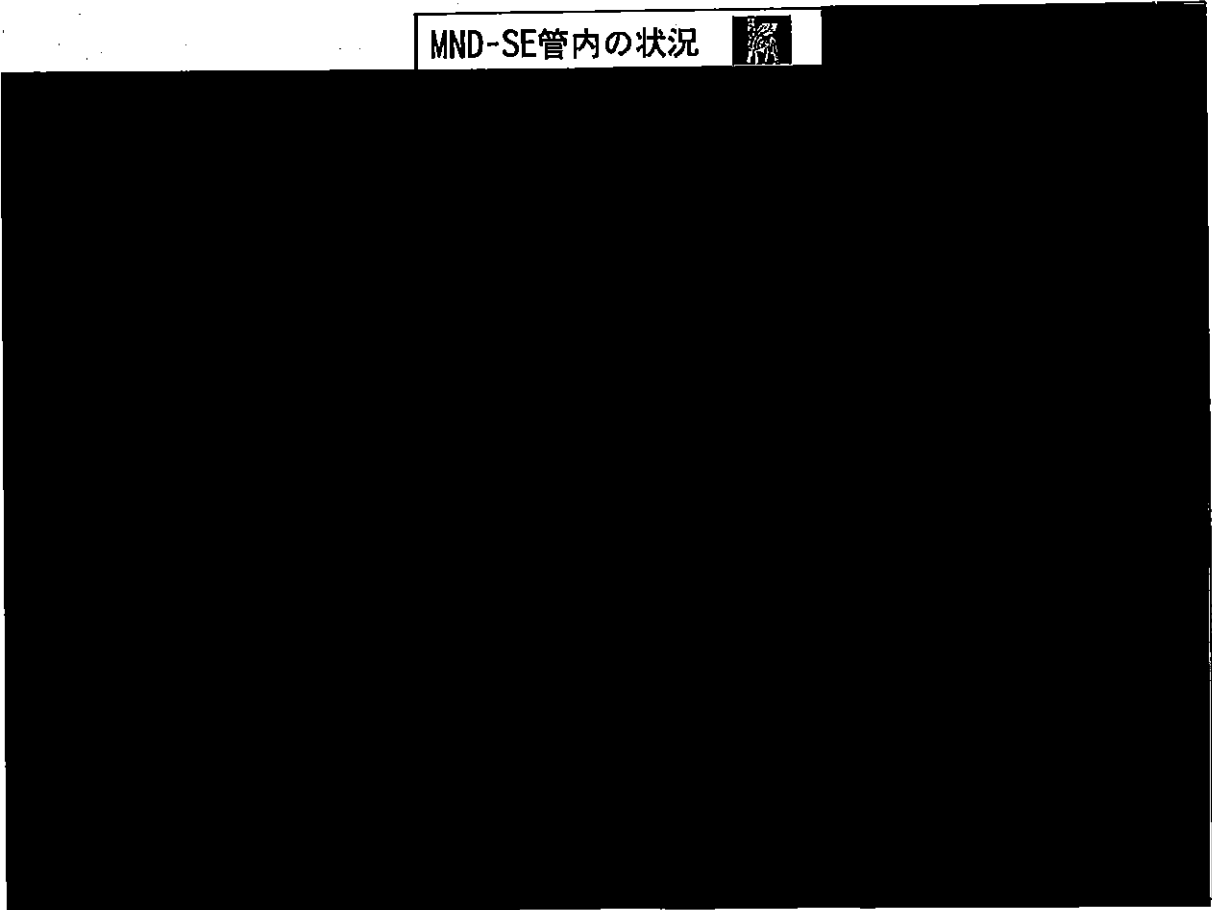
今思い返してみると、今朝の指揮官報告(BUA)はケーシー大將は不在であり、またテレビ会議の画面に映し出されているインターナショナル・ゾーンの米大使館の出席者が非常に少なかったのを思い出し、この発表の準備等があったのかと個人的に想像していた。



バスラLO日々業務報告(6月8日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (JSFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) カウンターIED研究会参加 (於シャイバ)
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席
5 その他 (備考)	

MND-SE管内の状況



バスラ日誌 (6月8日)

1 昨日1800から英軍殉職者2名の本国送還式が実施された。5月以降だけで3回目、我々がこちらに来てから5回目である。昨日は、キャンプ・メチカでも伊軍殉職者の葬儀が行われており、実感として、MND (SE) 管内の多国籍軍の被害は増えている。また、テロによるイラク人の犠牲者も毎日のように報告されており、治安の悪化が懸念される場所であるが、師団としても逮捕・掃討作戦を継続しており、今が我慢のしどころということだろうか。

2 師団管内の治安悪化の原因には様々な要因があると思うが、根本的な原因ではないとしても、そのうちの1つとして、米軍のあまりにも安易な武器使用があるのではないだろうか。例をあげると、サマワ近傍において、自分が走行車線を間違えて走っていたにも拘わらず、正面から走ってきた対向車(民間人)に対して射撃して重傷者を出したり、タリルにおいて、ゲート付近ではなく、普通の道路を走ってきたトラックが制止の指示を聞かなかったといって直ちにドライバーに危害射撃を加えたり、状況報告書を読んでいると何ということ、というものが時々見られる。米兵が過剰に反応したくなる気持ちに理解できる部分もあるが、報告が非常に遅れたり、報告内容が正確でないことに苛立っているムサンナ県英軍POLADのコメント等もある。先日の朝会議においても、米軍サージャント・メジャーが代行して参加していたのだが、師団長が最近のIED等被害の増加に対策をとるよう指示していると、「先に撃つ」と言葉を挟み、嫌味をかっていた。因みに彼が、着任教育で「シュート」を連発していた方である。彼はジョークのつもりだったのだろうが、師団管内に所在する米軍警備部隊等の武器使用基準の甘さに、少々困っている英軍関係者にとっては、笑えないジョークであった。

報道では、3件以上の住民虐殺事案について調査が始まっていると聞く。いかに高い理想を追求しようとする多くの人が頑張っているけども、一部に低いモラルが混在すれば、全体が悪いと見られる。10万人以上も派遣している米軍にとって、軍紀の維持ということも困難な課題なのだろう。

3 米軍の攻撃でザルカウィ容疑者が死亡したというニュース速報が流れている。影響は・・・
本日快晴。カウンターIED研究会参加のためシャイバ。まもなく帰隊予定。バスラ4名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(6月8日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし: Threat Level
2 特記事項	サマワ市内等の治安情勢に関して重点的に情報収集を実施
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断 (2) 各種業務調整等 THREAT ZONE MAP関連、明日以降の豪軍支援要請関連、MND(SE)副師団長等サマワ宿营地訪問関連、豪軍要望事項関連、サマワ宿营地ジェネレーター整備関連等 (3) 各種ミーティング等 英豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE3:英軍(小火器) 0800~1400

クウェート分遣班業務報告

18. 6. 8

全 般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： █████ <input type="checkbox"/> 人員・武器等： 異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告： 所属人員24名、事故人員1名(サマーワ出張)、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候： 晴れ <input type="checkbox"/> 気温： 0700 33°C(40°C) 1100 46°C(53°C) ()は直射日光
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 業務調整 <input type="checkbox"/> コンボイ準備 <input type="checkbox"/> ナピスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> コンテナスキャナー運搬支援	<input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> テレビ会議
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 火器・車両整備 <input type="checkbox"/> ナピスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備	
その他	
<input type="checkbox"/> サマーワ出張 1名 █████	

クウェートLO日々業務報告(6月8日1900)

区 分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル █████ 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」(N/C)	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 報道対応に関する調整等 2 情報収集 特記事項なし	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 2 情報収集	
その他	なし	